外国語活動学習指導案

指導者 T１水島　知世

T２Catherine Campbell

１　学　年　第５学年３組（32 名）

２　単元名　We Can! 1 Unit5　“She can run fast. He can jump high.”

３　単元について

本単元は，ALT やクラスの友達に，神辺小学校の先生のできること等について紹介することを単元のゴールとしている。

そのため，紹介し合う際に活用できる英語表現を身に付けるとともに，目的を達成するために相手に伝える内容を整理する必要がある。そして，本単元で身に付ける英語表現と既習の英語表現を組み合わせ，紹介に自分の考えを加えて伝えられるようにする。

紹介活動では児童一人一人が作成した紹介シートを活用する。書く活動に関しては，音声で十分に慣れ親しんだものを書き写すことから始め，徐々に例文を参考に，英語で書かれた文の一部を例示された語句の中から選んだものに置き換えて，自分の伝えたい内容を表現できるようにする。 また，読む活動においては，音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現について，言語外情報や文字の音の読み方を手掛かりに読むことに取り組み，友達の紹介カードに書かれている内容を推測できるようにする。

11 月に行ったアンケート調査から，本学級児童の「やり取り」「読むこと」「書くこと」についての意識は以下の通りである。

質問	4	3	2	1
英語でやり取りをする時には，相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事したりしています。	４４％	５０％	６％	０％
英語でやり取りをする時には，会話が続くように，知っている表現を使うようにしています。	４１％	４７％	１２％	０％
英語でやり取りや発表をする時には，自分の考えや気持ちなどを伝えています。	６３％	３７％	０％	０％
英語の文字（アルファベット）を読むことができます。	７８％	２２％	０％	０％
英語を読む時には，単語や表現の意味を考えながら読んでいます。	４４％	５３％	３％	０％
英語を書く時には，単語の間を空けるなど，英語の書き方のきまりを守って書いています。	５６％	２８％	１３％	３％
英語を書く時には，単語をならべる順番を考えながら書いています。	７８％	１９％	３％	０％

これらの結果より，「やり取り」をする際に，話の内容に応じて活用できる既習表現を考えて使うことに課題があると言える。また，「書くこと」に関しては，単語と単語の間を空けることや４線上に正確にアルファベットを書くこと等に課題があると言える。さらに，単語や表現の意味を考えながら読むことや語順を考えながら書くことについても，５月及び９月に実施したアンケート調査と比較すると向上しているが，難しさを感じている児童もいる。

こうした課題を踏まえた上で，指導に当たっては，特に次の３点を意識して工夫・改善を図っていく。

①　紹介する際に必要な語彙や表現が含まれた話を，内容を推測しながら繰り返し聞く機会を十分確保する。その上で，児童同士でやり取りをする活動へ繋げていくことで，「できそうだ」という思いを持ちながら，コミュニケーション活動に取り組めるようにする。また，指導者のやり取りを聞かせたり，指導者と児童でやり取りをしたりする際には，既習表現の活用を意識して話すことで，児童が，話の内容に応じて活用できる表現に気付けるようにする。そして，児童同士のやり取りの中で，既習表現の活用がみられた場合には，それを取り上げ全体へと広げる。また，「言いたいけど言えない」という内容も取り上げ，既習表現に置き換えることを促す。

② 書く活動を行う際には，書く目的や相手意識を持たせることで，「丁寧に書こう」という意欲を引き出す。その上で，英語の書き方のきまりが守られていない例を提示し，間違いを指摘させる等，単語と単語の間を空けることや４線上に正確にアルファベットを書くこと等のポイントに気付かせる場面を工夫する。また，４線上に文を書く前に，主語（He/She），can，動作のカードを組み合わせて文を作る活動を行うことで，語順についても考えられるようにする。

③ 読む活動においても，他の活動と同様に目的を持って取り組めるようにする。クイズを楽しむという目的を達成するために，「なんとかして書かれている内容を読み取ろう」という思いを引き出していく。また，「聞くこと」→「話すこと」→「読むこと」「書くこと」の順序性を踏まえ，音声で十分に慣れ親しみ，意味を理解した上で，読む活動に取り組むことで，意味と音声と文字を結び付けて捉えられるようにするとともに，児童に過度の負担を感じさせないようにする。音声と文字の結び付きについては，毎時間少しずつ気付きを促す活動を仕組むことで，読む活動を行う際の手掛かりを得られるようにする。

4　単元目標

【コ】他者に配慮しながら，自分や第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。

【慣】自分や第三者について，できることやできないことを聞いたり言ったりすることに慣れ親しむ。
自分や第三者について，できることやできないことを書いたり読んだりすることに慣れ親しむ。

【気】アルファベットの文字の読み方には，名称のほかに音があることに気付く。

5　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
① 他者に配慮しながら，自分や第三者についてできることやできないこと等を紹介し合おうとしている。	① 自分や第三者について，できることやできないことを聞いたり言ったりしている。 ② 自分や第三者について，できることやできないことを，例を参考に書いたり，文字の音の読み方や言語外情報を手掛かりに読んだりしている。	① アルファベットの文字の読み方には，名称のほかに音があることに気付いている。

6　単元のゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	ALT に神辺小学校のいろいろな先生のことを知ってもらうために，先生のできること等について紹介する
目指す発話例	A：This is Mr.○○. B：What can he do? A：He can (run fast). He can (play soccer well). He can (play the piano). He is (great). B：I see.　Thank you.

7　言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
Can you (sing well)?　Yes, I can./No, I can't. [I/You/He/She] [can/can't] (sing well). Who is [he/she]？ Do you like (sports)？　Yes, I do./No, I don't. I like/I don't like ～. What (sports) do you like？　I like (soccer).	動作（play [the recorder/the piano], ride a [bicycle/unicycle], swim, skate, ski, cook, dance, run fast, jump high, sing well） can, can't, he, she, Mr., Ms. スポーツ，日課

8　単元計画

時	目標（◆），主な活動（〇），誌面上に記載【　】	評価規準・評価方法
1	◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。 〇Small Talk：先生のできること・できないこと 【Let's Play1】p.34, p.35　指導者の話を聞いて，誌面のどの動物かを推測して答える。 〇Who am I? クイズ　ヒントを聞いて，その人物が誰かを推測する。 【Let's Chant】p.35 Can you sing well? (オプション：I can run. I can swim.) 【Let's Play2】p.37 ポインティング・ゲーム 【Jingle】Animals Jingle p.39(p.77)	【慣①】 行動観察, 振り返りカード分析
2	◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりする。 【Let's Chant】p.35 Can you sing well? (オプション：I can run. I can swim.) 【Let's play2】p.37 ポインティング・ゲーム 【Let's Listen1】p.36 音声を聞いてどの動物のことかを考えて，番号を記入する。 〇キーフレーズ・ゲーム　I can ~./I can't ~.を使って行う。 〇Let's Talk 友達とできることを尋ねたり答えたりする。 【Jingle】Animals Jingle p.39(p.77)	【慣①】 行動観察，We Can 書き込み， 振り返りカード分析
3	◆できることやできないことを含む短い話を聞いて，具体的な情報を聞き取ったり，できるかどうかを尋ねたり答えたりする。 〇Small Talk：好きなスポーツ 【Activity1】p.37　ペアでできることできないことを予想して尋ね合う。 【Let's Listen2】Who am I? p.36　音声を聞いてどの動物のことかを考えて，番号を記入する。 〇デスティニー・ゲーム 【Let's Chant】p.35 Can you sing well? (オプション：Can you swim?) 【Jingle】Animals Jingle p.39(p.77)	【慣①】 行動観察，We Can 書き込み， 振り返りカード分析
4	◆できるかどうかを尋ねたり答えたりするとともに，短い話を聞いて具体的な情報を聞き取る。 【Let's Chant】p.35 Can you sing well? (オプション：Can you swim?) 【Let's Watch and Think2】前半 p.38 映像を視聴して，誌面に〇や△を書いたり，指導者の質問に答えたりする。 【Activity2】p.37　友達にインタビューし，できる場合は名前を書いてもらう。 〇Relay Game　列ごとにできることを尋ねたり答えたりしてリレーする。 〇Let's Read and Write　例を参考に自分のできることやできないことを書く。 〇インタビューする先生を決め，その先生のできることを予想して質問を考える。 〇Sounds and Letters	【慣①②】 行動観察，We Can 書き込み， ワークシート, 振り返りカード 分析
5	◆第三者についてできることやできないことを聞いて分かる。 〇Small Talk：好きな有名人 【Let's Watch and Think2】後半 p.38　第三者の紹介の仕方を知る。 〇Who is he? Who is she? 指導者による He/She を使った人物紹介を聞き，それが誰かを当てたり，一緒に言ったりする。 【Let's Chant】p.35 Can you sing well? (オプション：He can run fast. She can sing well.)	【慣①②】 行動観察，ワークシート，振り 返りカード分析

	○Let's Read and Write (What can he do? What can he do?) 人物の写真を見て，その人物のできることを考え，選択肢の中から選んで書き写す。 【Activity3】p.39 インタビューする先生に合わせて He か She を選んで書く。 ○Sounds and Letters	
6	◆第三者についてできることやできないことを尋ねたり答えたりする。 【Let's Chant】Can you sing well? （オプション：He can run fast. She can sing well.） ○Let's Read and Write (What can he do? What can he do?) 人物の写真を見て，その人物のできることを考え，選択肢の中から選んで書き写す。 【Let's Listen3】p.40 音声を聞いて，どの人物かを考え，番号を記入する。 グループで，友達が出すヒントを聞いて，それが誰かを当てる。 ○Let's Talk ・インタビューの結果を整理し，紹介する先生のできること等を，ペアの友達と伝え合う。 ・先生の人柄を表す言葉“He/She is (great).を紹介に付け足す。 【Activity３】p.39 インタビューの結果を整理し，紹介する先生のできることに合わせてカードを貼る。 ○Sounds and Letters	【慣①②】 行動観察，We Can 書き込み，ワークシート，振り返りカード分析
7 本 時	◆第三者についてできることやできないことを，例を参考に書いたり，文字の音の読み方や言語外情報を手掛かりに読んだりしている。 ○Let's Read and Write① 人物の写真を見て，その人物のできることを考え，選択肢の中から選んで書き写す。 【Let's Chant】p.35 Can you sing well? （オプション：He can run fast. She can sing well.） ○Let's Talk　ペアの友達とできること等を尋ね合い，グループで友達のことを紹介する。 ○Let's Read and Write② インタビューの結果をもとに，紹介する先生のできること等を書く。 ○Activity①　紹介例文からヒントを読み取り，誰の紹介かを考える。 ○Activity②　Who is he? Who is she?クイズ 紹介シートを交換して読み合い，どの先生を紹介しているかを考える。 コメントを記入し，紹介を書いた友達に渡す。	【慣②】 行動観察，紹介シート，コメントカード，振り返りカード分析
8	◆他者に配慮しながら，ある人物についてできることやできないことを，自分の考えを含めて紹介し合おうとする。 【Let's Chant】p.35 Can you sing well? （オプション：He can run fast. She can sing well.） 【Activity5】p.40 自分がインタビューした先生ができること等を ALT や友達に紹介する。 【STORY TIME】p.41　デジタル教材を視聴して，音声について読む。	【コ①】 行動観察，振り返りカード分析

◎文字と音については単元を通して適宜評価する。アルファベットの文字の読み方には，名称のほかに音があることに気付いている。（行動観察・ワークシート・振り返りカード分析）

9　本時の計画

（1）　目標

第三者についてできることやできないことを，例を参考に書いたり，文字の音の読み方や言語外情報を手掛かりに読み，概要を捉えたりする。

（2）評価規準

【慣】自分や第三者について，できることやできないことを，例を参考に書いたり，文字の音の読み方や言語外情報を手掛かりに読んだりしている。

（3）展開

学習活動	指導上の留意事項と使用英語例	評価規準・評価方法
1 挨拶	T2:Hello. How are you?　How ‘s the weather today? What day is it today?　What’s the date today?	
2 Let’s Read and Write① ある人物の写真を見て，その人物のできることを考え，選択肢の中から選んで書き写す。	・児童のよく知っている有名人を題材として取り上げることで，その人物のできることを連想できるようにする。 ・選択肢には，音声で十分に慣れ親しんだ語句を扱い，読み方や意味を推測できるようにする。	
3 Let’s Chant	Can you sing well?　P.35 (オプション：He can run fast. She can sing well.)	
4 Let’s Talk ペアの友達とできること等を尋ね合い，グループで友達のことを紹介する。	・これまでの学習を想起させ，友達のできること等を聞き出すためには，どのような表現が使えるかを考えさせる。 ・やり取りで得た情報を，別の友達に紹介することで，先生紹介を書く際に活用する表現に，音声で慣れ親しませる。 Let’s Talk の例 （ペアで） S1:Do you like sports? S2:Yes, I do. I like baseball. S1:OK. Can you play baseball? S2:Yes, I can. I can play baseball well. S1:That’s nice. S2:What can you do? Let’s Talk の例 （グループで） S1:This is ○○○. Ss:What can he do? S1:He can play baseball well. He can’t play the piano. He is (always) kind.	
Aim：先生紹介を書いて読み合い，先生達についての情報を get しよう。		
5 Let’s Read and Write② インタビューの結果をもとに，紹介する先生のできること等を書く。	・前時にカードを貼って作成した紹介文を参考にして書かせることで，語順に気を付けさせる。 ・英語の書き方のきまりが守られていない例を提示し，間違いを指摘させることで，書く際のポイントに気付かせる。 紹介シートの内容例 She can play badminton well. She can sing well. She can play the piano.　She is kind.	【慣】第三者についてできることやできないことを，例を参考に書いている。 （行動観察，紹介シート，振り返りカード）

6 Activity① 紹介例文からヒントを読み取り，誰の紹介かを考える。	・紹介例文を配付し，読める語句や表現に線を引かせることで，自分が読める部分と読めない部分を把握させる。 ・読めた語句や表現は何を手掛かりにしたのか，読めなかった語句や表現はどのように読めばいいのかを共有する。 ・声に出して例文を読むことで，音と文字を関連付けさせる。 ・ペアの友達と紹介例文から得た情報を交流させ，その情報をヒントに誰の紹介かを考えさえる。 ・答えを出し合う際に，その理由を問うことで，どのような情報を読み取ったのか，どの文から分かったのかを確認する。	
7 Activity② Who is he? Who is she?ｸｲｽﾞ 紹介シートを交換して読み合い，どの先生を紹介しているかを当てる。 コメントを記入し，紹介を書いた友達に渡す。	・Activity①と同様に，アルファベットの持つ音を手掛かりに，書かれている内容を推測しながら読むように促す。 ・紹介文から得た情報を，クイズの答えを考えるためのヒントにさせる。 ・コメントカードには，友達の紹介シートから分かったことや友達の紹介の良いところ等を書かせる。	【慣】第三者について，できることやできないことを，文字の音の読み方や言語外情報を手掛かりに読み，概要を捉えている。 （行動観察，コメントカード，振り返りカード）
8 振り返り	・児童の活動を評価した後，振り返りの視点を伝え，振り返らせる。 〈期待される振り返り例〉 ・今までの学習で言ったり書いたりした英語を思い出して，友達の紹介を読むと，その先生のできることが大体わかった。 ・英語を読む時には，アルファベットの音をヒントにして何て書いてあるかを考えると，友達が紹介している先生のできることが分かった。	